

よりよく生きるために　～道徳教育の推進～

本校は、明治5年の開校以来、今年で創立145年目を迎えます。学校探検等で校長室を訪れた子どもたちは、43代にわたる歴代校長の写真がずらりと並んでいる壁面を見て、驚きの声を上げるとともに、その歴史の長さを子どもなりに実感している様子が見てとれます。

さて、学校教育においては、基本指針として「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成が挙げられます。その中の「豊かな心」の育成は、すべての教科や活動において行います。中でもその中核を担うのが「道徳」です。そして、道徳教育を通じて育成される道徳性は、「豊かな心」はもちろん、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、子どもたち一人一人の「生きる力」を根本で支える大切なものです。

その「道徳」が、新聞報道等でもご存じのように、来年度から小中学校において「特別の教科 道徳」となり、評価も実施いたします。本校では、今年度から全学年で道徳の授業で毎時間学習したことを書いたワークシートをファイルに挟み込みポートフォリオを作成しています。このポートフォリオを作成することにより、これまでの自分の姿を自覚することができたり、子どもたち自身が自分の成長の跡を振り返ったりすることができます。

また、京都市では、6月と10月を道徳教育推進月間とし、本校では、重点項目である「親切、思いやり」「規則の尊重」を全校で共通して行います。また、9月10日（日）の休日参観の際には、全学級道徳の授業公開を行います。是非、ご予定いただき、参観していただきますよう、ご案内いたします。

最後に、今年度、学校全体で取り組みたい道徳の内容について書かせていただきます。それは、『主として集団や社会とのかかわりに関すること』の中の「よりよい学校生活、集団生活の充実」です。みんなで協力し合って楽しい学校をつくるために、子どもたちとともに西京極小学校の自慢を見つけたいと考えています。そうすることで、さらにこの学校に誇りをもち、学校だけでなく将来にわたって西京極の街を大切にできる人になっていってくれると考えています。掃除時間の黙働の取組もその一つです。以前にも書きましたが、地域・保護者の方が熱心に働きかけていただいたおかげで、京都市で戦後初めての鉄筋校舎として北校舎が建てられました。そのような校舎が本校にあることも本校の自慢の一つとして紹介することで、みんなで心を込めて掃除し、これからも大切に使っていくような子どもたちを育てたいと思っています。

校長 今村 ひろみ